



鶴居村

議会だより

発行 鶴居村議会
編集 広報調査特別委員会

議会は村民の皆さんと村政を結ぶパイプ役です。



一富士、二鷹、三茄子 !!



- ◆ 第4回 定例会
 - ◆ 一般質問
 - ◆ 補正予算
 - ◆ 委員会活動
 - ◆ 読者の声



平成21年第4回定例会が12月10日招集され、会期を1日とし、議長より諸般報告、村長、教育長より行政報告、5名の議員より9項目の一般質問、15件の議案等の審議がされ原案通り可決し、閉会しました。

◆◆◆ 諸 般 報 告 ◆◆◆

松井議長より9月17日以降12月9日までの諸般報告があり、主な会議として、釧路支庁管内町村議会議長会12月定例会の報告があり、明年度の行事予定について報告がありました。また釧路北部消防事務組合議会議員より第2回臨時会及び第3回臨時会の報告、並びに釧路広域連合議会議員より11月定例会の報告が行なわれました。

◆◆◆ 行 政 報 告 ◆◆◆

▶日野浦村長より行政報告がありその中で特に次の4点について説明がありました。

(1)ふるさと祭りについて

9月23日開催の第5回ふるさと祭りは晴天に恵まれ大勢の人でにぎわった。

(2)オールジャパンナチュラルチーズコンテストについて

第7回オールジャパンナチュラルチーズコンテストにおいてハード部門で連続日本一の栄誉に輝いた。

(3)村政懇談会について

村内9ヶ所で開催した。

(4)新型インフルエンザについて

現況の報告がされました。

▶国安教育長より村内各小中学校の校舎等の耐震診断、耐力度調査の結果の報告がされました。



賀 春



新年明けましておめでとうございます

皆様、新年明けましておめでとうございます。

村民の皆様には、日頃より村議会に対しまして深いご理解と絶大なるご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を顧みますと、8月30日に執行されました衆議院議員総選挙で自民党は歴史的な惨敗を喫し民主党が308議席と圧勝して政権交代が行われました。

一方、円高ドル安の影響など依然として国内外では景気の低迷や厳しい雇用情勢が続いております。又新型インフルエンザの影響についても大変心配しておりますが、各家庭において感染を予防するためのこまめな手洗い・うがい等一人ひとりが感染予防の自覚をもって自ら実践する事が大切かと考えます。

本村の基幹産業酪農を取り巻く環境も依然として厳しい状況にあります。

このような状況の中、明るいニュースとして、隔年開催の「第7回オールジャパンナチュラルチーズコンテスト」で本村から出品のシルバーラベルが「農林水産省生産局長賞」を受賞、前回のゴールドラベルに続く快挙であり、職員の努力や生産者の日頃の乳質改善の取り組み、良質な生乳を生かした特産品製造などが評価されたものであり、村民の皆さまと一緒に喜びたいと考えます。

さて、地方自治体を取り巻く環境は、依然として先の読めない状況にありますが、議会と致しましては、引き続き議会改革を始めとして地域の発展と住民福祉の向上が図られるよう、引き続き議員一同切磋琢磨しながら全身全霊を傾注し、取り組んで参りますので、皆様のなお一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、今年1年皆様にとりましてより実り多き年でありますと共に皆様のご健勝を祈念致しまして、新年のご挨拶と致します。



庶務係長	事務局長	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	議員	副議長	議長
伊藤 真弓	白田 和史	東 隆行	吉田 保博	武藤 清隆	秋里 廣志	瀬川 勝巳	久保田武男	松井 広道	大津 泰則	大山 尚良	松井 宏志



一般質問

12月10日開催の定例会で
5人の議員が9件質問

質問・答弁ともに要旨要約して掲載
しました。

学童保育の充実を!!

地域との協働で実施したい

武藤議員

学童保育は、児童福祉法等で行政として取り組まなければならない事業として位置づけられています。本村でも社会情勢、生活形態の変化によりその要望は年々高まっています。過日行なわれた村政懇談会においても、特に下幌呂地区より切実な要望が出されていました。そこで次の二点について村長の考えを伺います。

日野浦村長

① 現在、平成二十二年度からの五ヶ年を計画期間

として鶴居村次世代育成後期行動計画の策定に向け、前期計画の評価やアンケート調査、道の策定した基本目標に基づき協議をしているところで、それらの結果にもとづいて、関係機関と連携を図り取り組んで参りたい。

② 新年度より「旧母と子の家」の有効活用を図り、且つ一名の人員を配置し



改築が予定されている下幌呂母と子の家

ながら前向きに取り組みたい。又保護者の方から「地域で出来る事は、地域で。」とお話もありましたので、それらの意見

を尊重しながら管理運営を含めて、地域との協働で学童保育の実施を検討したい。

鹿の食害に支援を!!

道の施策に上乗せも検討したい

武藤議員

「鹿の食害は災害」とまで言われる程、近年の鹿による被害は大きなものとなっています。過日行われた村政懇談会の中でも、その殆どの地区で切実な訴えがありました。

今年夏は夏の天候不順も重なり牧草、デントコーンの質量の低下により、今後の営農に多くの農家が大きな不安を抱えて年の瀬を迎えています。村としても何らかの対策をもって、この窮状を支援できないか村長の考えを伺います。

日野浦村長

エゾシカによる農業被害を救済する支援についてですが、今年度の粗飼料の作況につきましては天候不順により質量共に



鹿の食害

家畜の「ふん尿悪臭対策」を！

関係機関と連携し努力します

久保田議員

鶴居村は「環境基本条例」を制定、又「日本で最も美しい村」に登録されました。

本村は、人口増加対策として、宅地を造成し都市からの定住者の受入・滞在型観光や都市住民との交流を進めています。

一方、転入者の増加に伴い、家畜のふん尿悪臭に対しては敏感であり、不快の声が高まっています。

酪農家は、軽減対策として、添加剤の使用や液肥を機械で土中に注入する等に苦慮しています。しかし、これら対策には高額な費用負担になることから、取組みが遅れている実態にあります。本村にとって悪臭対策

②助成制度による費用軽減対策の実施

日野浦村長

は、「環境に優しい村づくり」の観点から避けて通れない最優先課題であり急務であります。

そこで、次の点について伺います。
①適切な悪臭対策体系と指導方策

定住自立圏形成への参加検討状況は事務レベルで協議の段階

吉田議員

釧路市が釧路支庁管内の町村に参加を呼びかけている定住圏形成に鶴居村も参加を検討している事が新聞で報道されました。協定を結び定住自立圏共生ビジョンを策定するとあります。そこで、現在村の検討状況について伺います。

①悪臭対策は、基本的に、経営者の責任であり、今後、普及センターや農協と連携し調査を行い的確な情報の提供に努め意識の高揚と良質な環境の維持に努めて参ります。
②悪臭対策費は、経営者

日野浦村長

釧路市とは先行して検討している釧路町の協定項目案をたたき台として事務レベルで協議している段階です。国の要項に定める政策分野毎に協定可能な項目を市内各課で検討を加え、取りまとめの結果を基に釧路市との協議を行いたい。

が経常経費内の支出として対応すべきで、現在のところ助成策の支援は考えていません。

又、悪臭を抑制する新たな散布方式の機械の開発が進められているが、現在は、補助事業対象外のため、今後、農協等と連携を図り関係機関に働きかけ普及に努めて参ります。



スラリータンク

太陽光発電について 今後の動向見極め補助制度を検討

吉田議員

本村におけるCO2削減の取り組みは現在どのような取り組みをしているのか、又今後の取り組みはどの様に考えているかまず伺います。

村内でもソーラーパネルを取り付け太陽光発電の利用家庭が増えてきています。太陽光発電をど

の様に理解しているのか、又補助制度等の導入を考えていないのか伺います。一方、パネル取り付け業者の中に、悪質な者がいて高額な物を売りつける」と報道されています。住民に注意を呼びかけ被害を防ぐ為に情報を提供すべきと思いますが村長の考えを伺います。

第4次総合計画の見直しについて

現在、ローリング作業中であります

大津議員

総合計画の実施計画は各年度の事業の進捗状況を踏まえて、毎年度見直しを行う事になっております。

そこで、この二年間を振り返って実施計画の進捗状況と毎年度どの様な形で各課の計画の事業評価を行ってきたのか。

又、その事により見直しをした事業があったのか伺います。

そして、重点プロジェクトの一つである「地域を支える人づくりプロジェクト」の活動の推進について、どの様な評価がなされていて、それらを踏まえて、来年度協働のまちづくりの新たな施策があるのか伺います。

日野浦村長

現在、二十年度の事業実績並びに二十一年度から二十四年度までの三年間の実施計画のローリング作業を行っており十分な数値的把握はしておりません。

そこで、各課の事業評価であります。二十年度事業実績を今回のローリングで整理する訳でありますので、今後の課題として行政評価や事後評価のあり方や実施する時期などを考え対応していきたいと考えます。

又、人材育成や村づくりについては客観的な判断のみで評価出来ませんので、これまでの取り組みを検証しながら中長期的な視点を持ち、これまでの地域や住民の皆さんと協働で執り進めてきた事業の推進を図ります。

有害鳥獣の駆除について

国、道の関係機関に要請、有効策も検討

東議員

今年の村政懇談会では殆どの地区で鹿、カラス、キツネの被害について要望が出されていまして、

村長はどの様に感じたか伺います。カラスの駆除については、今年既存の箱形檻でかなりの捕獲実績があったと聞いています。これらの成果を踏まえて、私はカラスの駆除については、村内数箇所に箱檻を設置するべきと考えますが、捕獲罠設置のその後の進捗状況も含めて村長の考えを伺います。今年の村政懇談会では、キツネが市街地区にも出没することが多くなってきたという事は使えないという事で村

長はキツネ罠を作ると答弁されました。ミンクの罠についても必要と思いますが、村長の考えを伺います。

日野浦村長

エゾシカ、カラス、キツネの被害対策につきまして、先の村政懇談会において多数の地域から要望が出されました。エゾシカにつきましては危機的状況にあると危惧しております。カラス、キツネに付きましては、個体数を抑制するには至っておりません。現在このような状況を打開する決定的方策は見当たらないのが実情であります。今年度のカラスの捕獲実績は現在のところ過去五年間の平均を約三百羽程度上回っ

ております。箱罠につきましては野生鳥獣被害対策協議会への助成が国の予算枠の関係で不採択となりましたので、再度検討して参りたいと考えております。エゾシカの罠については阿寒湖畔の民有林において実績があり、五年間の平均三九八頭の捕獲実績があり捕獲後の処分方法等の課題もあり検討を行って参りたいと考えております。ミンクの捕獲罠については釧路ウエツトランドセンターの調査結果を検討材料として参りたいと考えております。



導入が期待される箱罠



渡辺 巖氏
鶴居村幌呂西6-21
昭和19年2月27日生(65才)



鈴木 昭氏
鶴居村鶴居南4-33
昭和15年6月5日生(69才)

任期満了となった人権擁護委員に鈴木昭氏と渡辺巖氏を推薦したい旨意見を求められ、満場一致で適任推薦されました。

▼人権擁護委員候補者の推薦について



補正予算

- ◎平成21年度鶴居村一般会計補正予算
歳入歳出それぞれ80,895千円を追加し、予算の総額を3,586,838千円としました。
主なものは幌呂小学校体育館等耐震補強工事、戸籍電算システム導入業務委託によるものです。
- ◎平成21年度鶴居村水道特別会計補正予算
歳入歳出それぞれ52千円を減額し予算の総額を35,148千円としました。
主なものは人事院勧告によるものです。
- ◎平成21年度鶴居村農業集落排水事業特別会計補正予算
歳入歳出それぞれ44千円を減額し予算の総額を83,756千円とするものです。
- ◎平成21年度鶴居村国民健康保険特別会計補正予算
歳入歳出それぞれ41,378千円を追加し、予算の総額を368,332千円とするものです。
主なものは、一般被保険者療養給付費負担金によるものです。
- ◎平成21年度鶴居村診療所特別会計補正予算
歳入歳出それぞれ17,099千円を追加し予算の総額を100,084千円とするものです。
主なものは、新型インフルエンザワクチン購入費です。
- ◎平成21年度鶴居村介護保険特別会計補正予算
歳入歳出それぞれ2,953千円を追加し予算の総額を247,658千円とするものです。
主なものは、入所者の増加によるものです。
- ◎平成21年度鶴居村後期高齢者医療特別会計補正予算
歳入歳出それぞれ124千円を追加し予算の総額を23,188千円とするものです。
主なものは、保険料負担金によるものです。

第4回臨時会

11月2日開会の第4回臨時会の内容について報告します。
財産の取得契約の締結について

- 1、契約の目的 大型水槽車購入事業
- 2、契約の方法 指名競争入札
- 3、契約の金額 47,439,000円
- 4、契約の相手方 釧路市鳥取大通6丁目8番11号
日産ディーゼル道東販売株式会社 釧路支店
支店長 西 嶋 稔



第5回臨時会

11月25日開会の第5回臨時会の内容について報告します。

- ▶村長・副村長・教育長の給料月額及び期末手当が次のように改正されました。
 - ・村長 「798,000円」を「734,000円」
 - ・副村長 「663,000円」を「623,000円」
 - ・教育長 「598,000円」を「574,000円」に改正されました。
 - ・人事院勧告に準じて12月支給の期末手当が100分の230から100分の215に改正されました。
- ▶議会議員の期末手当が次のように改正されました。
 - ・議会議員の12月支給期末手当が、人事院勧告に準じて100分の230から100分の205に改正されました。
- ▶一般職員の給料及び期末手当が次のように改正されました。
 - ・人事院勧告に準じて一般職員の給料月額の改正と12月支給期末手当が100分の160から100分の150に改正されました。
- ▶平成21年度鶴居村一般会計補正予算
歳入歳出をそれぞれ15,375千円を追加し総額を4,009,287千円とするものです。
主なものは
 - ・新型インフルエンザ予防接種助成費 3,483千円
 - ・情報通信基盤整備実施設計委託 3,980千円
 - ・鶴居中学校特別支援教室等設置工事 6,888千円

日野浦村長

平成十八年三月に「鶴居村地球温暖化防止実行計画」を策定し二十三年までに温室効果ガス排出量を平成十六年度を基準年度として5%削減するため電気、燃料を始め廃棄物の減量化に努め、「温室効果ガス排出調査表」を毎年提出し、集計後に公表をしています。CO2削減の取り組みは、使わないOA機器や電灯の電源を切るなどの対応を行っています。又エネルギー消費効率の高い機器を入れ替えるなど計画的にエネルギー削減に努める。

「太陽光発電」はエネルギー・環境面経済的のメリットがありますが反面導入コストが比較的高額です。戸建て住宅では1kWにつき七十万円3kW必要で二百十万円の設置



太陽光パネル導入住宅

費用がかかります。国は、1kW七万円の補助金を出し、余剰電力買取りも1kW二十四円を四十八円としたが「事業仕分け」で予算計上「見送り」になりました。国の制度も不明確で今後の動向を見ながら補助制度を検討したい。悪質業者のトラブルを防ぐため、広報誌、無線等で周知し、新しい情報も、都度提供して参りたい。

認 定

平成21年第4回定例会において、平成20年度鶴居村各会計歳入歳出決算の認定が求められ、決算特別委員会を設置し、委員会に付託されました。(委員長 松井廣道氏)

平成20年11月13日本委員会を開き、理事者の出席を求め質疑を行い、監査の意見書を参考に慎重な審査の結果原案通り認定する事に決しました。

◎今定例会で委員長報告され、本会議において認定されました。

条 例 の 制 定

◎鶴居村廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について

- ・10キログラムまで50円、以後10キログラムまで毎に50円を加算、10キログラムまで80円以後10キログラムまで毎に80円を加算というように改める。



◎規約の変更

△北海道市町村備荒資金組合を組織する市町村の増減について

- ・組合を脱退する市町村、上湧別、湧別町
- ・組合に加入する市町村、湧別町

△北海道後期高齢者医療広域連合を組織する市町村数の減少について

- ・紋別郡上湧別町及び湧別町を脱退させ同郡湧別町を加入させること。

意見書

- ◎道立衛生学院の存続を求める意見書
- ◎新北海道石炭じん肺第3陣訴訟について
「消滅時効」の援用に反対する意見書

なり、光ファイバに切り替えることとなる。
イ、民営化とランニングコストについて

町が今まで構築した「まおいネット」をNTTに貸し出し、NTT東日本が運営管理を行うこととなり、ランニングコストなど町の負担は軽減された。
ウ、光ファイバの整備・管理の民営化によるメリット

・保守料金の削減（年間三、〇〇〇万円以上）
・機器更新料の削減（一〇億円程度）
・全町一律に高度なサービスを受けられる

・町が整備した施設をほとんど活用するため新たな整備費が不要

・日進月歩のIT情報化社会にあつて、NTTにより次世代ブロードバンドサービスが展開されるのは安心・安全である

この他、住基カード等の多目的利用の実施、特に住民票の写しや印鑑登録証明書の自動交付機の導入などにも取り組んでいる。

◎島牧村

電波の受信状況、特にテレビの受信も悪い島牧村では、住民が都市との格差のない安全で快適な生活を送るため、総合的な光ファイバネットワークを全村に構築し、低コストで効率的な地域情報基盤の整備を総事業費六億三、〇〇〇万円で行った。

テレビ共同受信システムのデジタル化やオプトーク通信施設の更新時期を契機に村内の情報通信システムを統合し、全村を光ファイバで結ぶことにより地上デジタル放送、災害IP告知放送、消防サイレン機能、ブロードバンド環境等を一括して利用することが可能となり、地域の活性化が期待される。

平成二十一年度のランニングコストは、収入として加入者負担九六〇万円を含め、NTT東日本よりBフレッツ装置貸付等一、二九〇万円、支出については保守、維持費等九四三万円程度、保守については、今後ともNTT東日本に委託する予定である。

◎NTT東日本
今回政権交代がなされたが、地域情報通信基盤整備推進事業については、総務省及び農林水産省の補助事業は継続される見込みであるとの報告を受けた。

本村が全村光ファイバを有線ケーブルでの設置を計画している、「鶴居村情報基盤整備構想」についての説明を受けた。
光ケーブル二二〇km、電柱添加本数約四、八〇〇本、地域インターネットを構築するため個別にIP告知端末を設置しネットワークを利用する。緊急放送、一般放送確認放送、グループ放送、農業情報など様々な利用が可能となるということである。また、地上デジタル放送の難視聴対応とブ

平成二十一年度 釧路支庁管内町村議会議員研修会

平成二十一年度管内町村議会議員研修会が十月三十日釧路町遠矢コミュニティセンターで開催されました。管内より議員等一〇〇名の参加の下、ホクレンの板東貴之酪農畜産事業本部長より「北海道酪農の原動力と将来」と題して講演があり、その中で北海道の生乳生産量は全国

ロードバンド格差解消になる。その他、初期構築費、ランニングコスト、住民負担などについての説明を受けた。

二) 公共施設の暖房整備について

◎伊達市
庁舎竣工後三三年が経過し老朽化が著しいため、電気暖房による全面改修を決定したが、現設備の延命を図る方向で検討をした。

豊富な森林資源を利用した「バイオマススタウン構想」を進め、燃料用木質ペレット生産プラントを建設し、年間二、〇〇〇トンの生産を開始した中で、木質ペレットの普及拡大のため各公共施設の「木質ペレット暖房方式」の採用を考え、平成二十一年本庁舎もこの方式で改修した。環境に配慮した燃料であり設

シエアで五割を超えるまでになった等現状の話、今後の販売展開へむけた取り組みについてユーモアをまじえながらお話しして下さいました。
又研修会においては北海道町村議会議長会事務局秋田主事より「議員年金財政の現状と今後の対応について」説明がありました。

備費が少なく、一番大切なことはランニングコストが少ないということである。
今後は「カーボンニュートラル」を考え、村の資源の活用も合わせて考える必要がある。

委員会活動

▼総務常任委員会

十一月十八日所管事務調査をしました。

(1) 調査事件

鶴居村及び下幌呂地区の学童保育（子育て支援）について

(2) 調査方法

役員住民課及び社会福祉協議会より、現在の取り組み状況について説明を求めた。

(3) 調査内容

・鶴居村の学童保育については、現在の事業推進と、五ヶ年間



における後期次世代育成支援行動計画策に伴うアンケート調査を尊重して、計画に基づきながら子育て支援を行う。下幌呂地域の学童保育については、早急に子育てサークルとの協議の場を設けて、要望を整理して次年度の予算編成に向け進めていきたい。

(4) 調査結果

・現在社会福祉協議会登録依頼者は四十六名で、支援者が十二名であるが支援者が増えない状況にあるので、待遇改善等の検討が必要である。

・子育てサポート事業については、今後利用者負担等よりきめ細かな方針を明確にすると共に担当課と社会福祉協議会が連携を深めて取り組んでいく必要がある。

・今後引き続き継続調査するものとする。

平成二十一年度 議会行政視察

十月二十日から二十三日の四日間、議員十名と事務局、村より山田産業課長の同行を戴き本年度の道内行政視察を行い、総務、産業の委員会所管事務調査を行いました。

委員会所管事務調査の報告について

▼総務常任委員会報告

(1)調査事項

① 移住者対策について

② 議会改革の取り組みについて

(2)調査方法及び結果

① 調査方法

移住者対策については伊達市へ、議会改革の取組みについては白老町へそれぞれ

委員派遣を行い、先進的取り組み事例の視察を行った。

② 調査結果

一(一) 移住者対策について
急速に進む少子高齢化、高齢者が安心して暮らせるまちづくりが急務であることから「活気のあるまちづくり」を行政推進の柱としている。特に、市役所では「住んでみたいまちづくり課」を設置し、高齢者を積極的に受け入れ、まちづくりの核にするという大胆な発想で具体的な取り組みがなされている。

◎伊達市

一、移住者相談窓口の設置

市役所に「住んでみたいまちづくり課」を設置。全国からの問い合わせの対応、パンフレットや資料を提供している。

二、移住体験

実際に住んでみたい方に生活用品一式、滞在物件を用意して生活を体験してもらう。

三、高齢者向け住居と認定制度

一定の基準を満たした民間住宅を市が認定する「安心ハウス」の制度があり、現在二棟六五戸の認定ハウスがある。

四、郊外型田園住宅

自然に囲まれゆったりと暮らせる住宅地を造成し販売。

また、「安心ハウス」への住み替えや、他地域への住み替え等にも対応する。

五、交通手段「愛乗りタクシー」の運行

バスより便利で通常のタクシーより割安の「乗合制タクシー」を運行し、高齢者の安心した生活環境づくりがされている。

六、各種情報の提供

街の様子や地域住民の生活内容等を全国に紹介し、PRを行っている。



伊達市は、産業の振興として「移住者促進事業」を掲げ、また地域の企業や住民も積極的に参加して移住者誘致に成功している。特に大胆な企画と、その実現に向けた具体的な取り組みが不可欠であることを痛感した。

二(二) 議会改革の取り組みについて

少子高齢化と地方分権推進の情勢下で、時代に対応する議会活動が強く求められ、町民の期待に応えることが使命であるという強い認識に立って、議会改革の取り組みが進められていた。

一、議員の政策能力の向上

議会として、政策を作成する段階から常任委員会や政策研究会等で積極的に調査、研究を行い、地域の課題等について先取りする努力により議会活動の充実とチェック機能

の向上に努めている。
二、町民に親しまれる議会
① 住民との懇談会
地域からの陳情や課題等を、前もって地元住民との懇談を実施している。
② 議員の出前トーク
各地域や住民から議員の出席要請があった場合は、出席し不信や不満等解消するための議員活動を行っている。
③ 休日・夜間議会の実施
傍聴しやすい時間設定のため休日・夜間議会を開催し、議会への親しみと関心・喚起に努めている。
④ 議会情報公開
本会議、委員会の公開、本会議議事録のインターネットによる公開、議会ホームページの開設、議会だよりの発行等を行っている。
三、まとめ
議会のスローガンに「開かれた議会・信頼される議会」を掲げ、議会が地域に向かい住民の切実な訴えや要望を聞き入れ、議会活動に反映させていた。
また、町は町民・議会・行政の三者一体となって、それぞれの役割と責任分担を明確に示した「白老町自治基本条例」が設定され、住民参加による協働のまちづくりがされていた。

▼産業常任委員会報告

(1)調査事項

① 地域情報化整備について

② 公共施設の暖房整備について

(2)調査方法及び結果

① 調査方法

地域情報化整備については、長沼町、島牧村並びにNTT東日本へ委員を派遣し先進的

取組み事例の調査を行なった。

また公共施設の暖房整備については、伊達市へ委員派遣を行い木質ボイラー導入に至った経過についての調査を行なった。

② 調査結果

一(一) 地域情報化整備について

平成十三年から十五年にかけて町内全域において無線LANによる高度情報化推進事業を約三〇億円の事業費をもって行ったが、この程無線から光ファイバに伝送方式を変更した。

ア、光ファイバへ変更した経過

について

94基のアンテナ鉄塔と無線LANシステムは、落雷等の影響を受けやすく通信遮断が頻繁に発生するなど通信の不安定性がある。更に、維持管理費も多額になり機器整備を五年で更改しなければならぬ。

また、通信速度も低速であり時代に合わなくなってきた。

多様なサービスが享受できる高度な通信環境の整備が必要と

◎長沼町

平成十三年から十五年にかけて町内全域において無線LANによる高度情報化推進事業を約三〇億円の事業費をもって行ったが、この程無線から光ファイバに伝送方式を変更した。

ア、光ファイバへ変更した経過

について

94基のアンテナ鉄塔と無線LANシステムは、落雷等の影響を受けやすく通信遮断が頻繁に発生するなど通信の不安定性がある。更に、維持管理費も多額になり機器整備を五年で更改しなければならぬ。

また、通信速度も低速であり時代に合わなくなってきた。

多様なサービスが享受できる高度な通信環境の整備が必要と

読者の声



鶴居村商工会

参事 浦嶋 良明

鶴居村美しい村プレミアム商品券を購入いただきありがとうございます。

十二月二日(火)より七十才以上の村民の方への先行販売に続き、十二月三日からの一般販売が十二月十五日(火)までの二週間で用意しました。大曾が村民の手に渡りま

した。

十二月二日は七十才以上の方に配慮し、会場を総合センター多目的ホールに用意して、商品券は午前九時より発売を開始

しましたが、発売を待ちわびた方が三十分以上前より総合センターの中で待つており、鶴居村で初のプレミアム商品券販売でもあり、私達も緊張しておりましたが、終始なごやかに購入していただいたように思います。十二月三日からは会場

を総合センター第一研修室、四日から総合センター二階ロビー、五日からは商工会と移しておりましたが、やはり足の弱い方には大変申し訳なかったかなあと思いました。(階段はキツイなあとの声もありました。)

本事業を実施するに当たりましては、鶴居村より補助金を導入して頂き、釧路管内では最高、全道や全国でも屈指のプレミアム率五十%を実現できました。

また、本事業への協体制としましては商工会員の協力はもとより、釧路丹頂農業協同組合職員

の皆様の絶大なるご協力をいただきました。取扱

店には当商工会員の取扱店のほか村内商工会員以外の方が、合計で二十六店、事業所が参加して実施しております。この事は、商工会と農協が一丸となつて地域の活性化に取り組む姿勢であり、これからの鶴居村のまちづくりとしての第一歩でもあるように感じております。

尚、商品券の利用期限は平成二十二年二月二十八日迄となっておりますので、この機会にぜひ地域の農協、商工会員の取扱店をご利用下さいますようお願い申し上げます。

あとがき

▼明けましておめでとうございます。議会だより「百二十四号」をお届けします。

暖冬続きの昨今でしたが、今年は久しぶりの冬將軍の当来の中編集作業を進めています。

▼今年の干支は「寅」です。アメリカのトラは今大変な状況にあるようですが、我が日本の寅には、今日の低迷した社会を、吹きとばす事を期待したいものです。

▼新年も住民の皆様の健康と御活躍を心より祈念するとともに、議会に対しましては暖かい御支援御協力の程宜しくお願い致します。

広報調査特別委員会

- 委員長 武藤清隆
- 副委員長 吉田保博
- 委員 瀬川勝巳
- 委員 東隆行

村議会の動き

- 10月14日 全員協議会
- 10月20日 議会道内視察
- 10月23日
- 10月30日 釧路支庁管内町村議会議員研修会
- 11月2日 第4回鶴居村議会臨時会
主要施設・事業の執行状況等現地調査
- 11月10日 釧路広域連合議定会定例会
- 11月18日 全員協議会
総務常任委員会
- 11月24日 第3回釧路北部消防事務組合議会臨時会
- 11月25日 第5回鶴居村議会臨時会
決算特別委員会
- 12月3日 議会運営委員会
- 12月10日 第4回鶴居村議定会定例会
- 12月22日 産業常任委員会
- 12月25日 公立大学事務組合定例会
釧路広域市町圏事務組合議定会定例会
- 12月17日 } 広報調査特別委員会
- 12月24日 H22
- 1月8日 }

